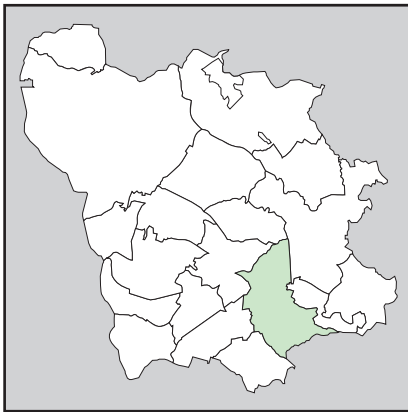
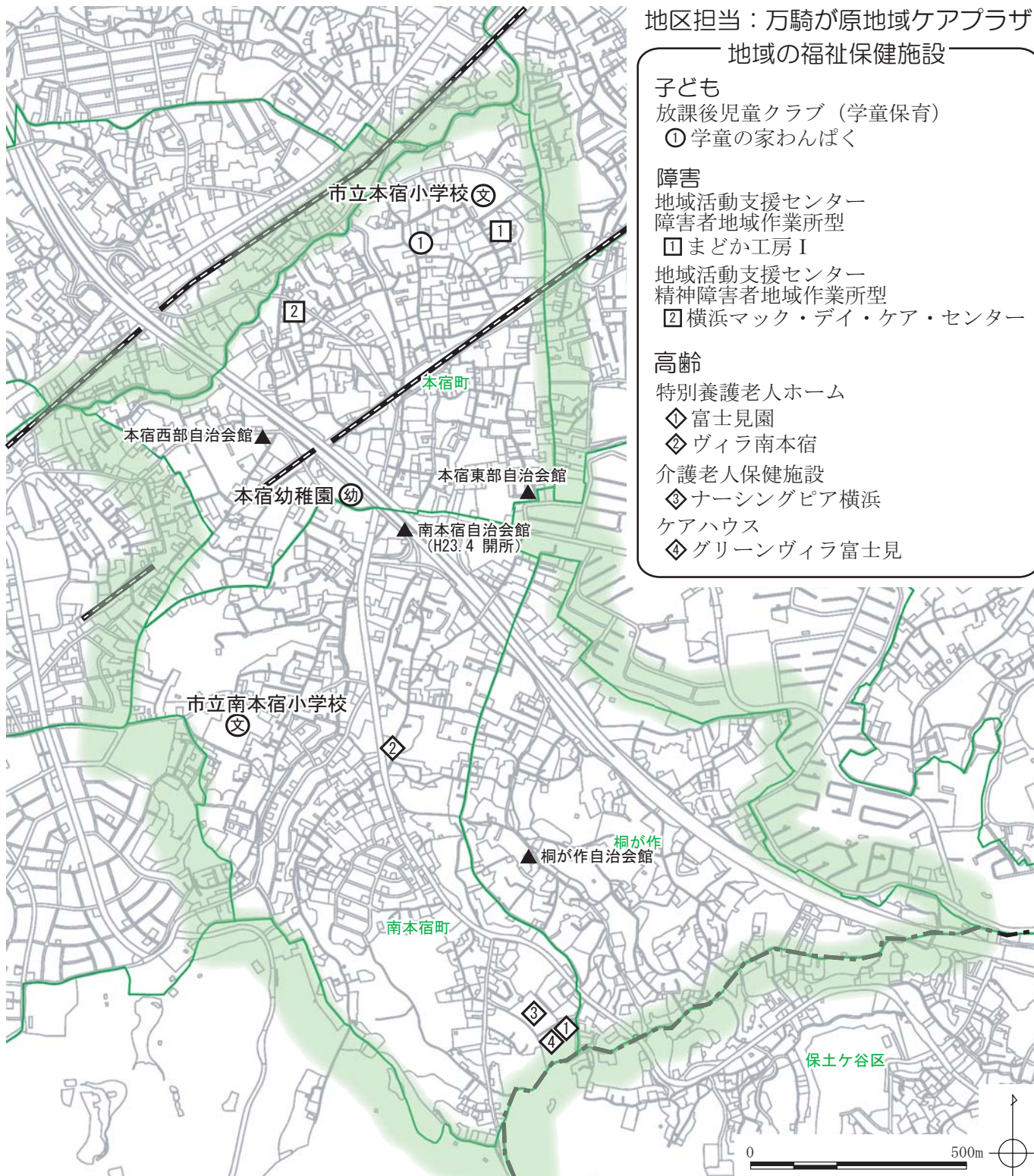


旭南部地区



旭南部地区は、旭区の南部に位置し、厚木街道付近から保土ヶ谷区境までの区域です。南本宿市民の森、南本宿公園など緑に恵まれています。区域内を保土ヶ谷バイパスが南北に縦断し、起伏に富んだ地形で坂道が多い地区です。



地区担当：万騎が原地域ケアプラザ

地域の福祉保健施設

子ども

放課後児童クラブ（学童保育）

- ① 学童の家わんぱく

障害

地域活動支援センター

障害者地域作業所型

- ① まどか工房 I

地域活動支援センター

精神障害者地域作業所型

- ② 横浜マック・デイ・ケア・センター

高齢

特別養護老人ホーム

- ④ 富士見園
- ② ヴィラ南本宿

介護老人保健施設

- ③ ナーシングピア横浜

ケアハウス

- ④ グリーンヴィラ富士見

実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、おおよその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

背景図：横浜市都市計画基礎調査

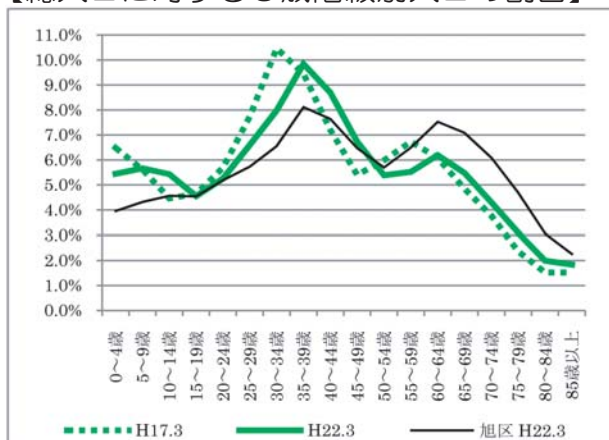
【地区周辺の地形】



地区データに見る特徴

- ・二俣川の支流を軸とする本宿町・南本宿町の谷戸と西谷方面からの谷戸筋にあたる桐が作の二つの地形的まとまりから成る地区です。
- ・総世帯数は 7.0%の増加、総人口も 4.4%増加しています。
- ・年齢構成別に見ると、年少人口は 4.2%の増加、生産年齢人口はほぼ横ばい、高齢者人口は24.3%の伸びを示しています。
- ・それでも、旭区全体の傾向と比較すると、40歳未満の人口比率が高く、50歳以上の人口比率が低くなっており、高齢化率も16.7%と低い数字です。

【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	4,938 世帯	5,281 世帯	+6.9%
総人口	12,230 人	12,762 人	+4.3%
0~14歳 (内、0~6歳)	2,026 人 (16.6%)	2,111 人 (16.5%)	+4.2%
15~64歳	8,489 人 (69.4%)	8,519 人 (66.8%)	+0.4%
65歳以上	1,715 人 (14.0%)	2,132 人 (16.7%)	+24.3%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計 (本宿町、南本宿町、桐が作)

※人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考としてお取り扱い下さい。

旭南部地区の活動情報

(平成22年9月末現在)

子どもの健全育成
「大縄跳び・吹き矢大会」

青少年指導員の指導の下で、地区の大会や区の大会を目指し、吹き矢の手作りも含めて、親子で一緒になって活動しています。



子育て地域サロン
「MaMa♡Kids」

毎月第3木曜日
時間：10:00～11:30ごろ
場所：本宿東部自治会館
親子で気軽に集い、子育てについて交流する場です。

地域の安全を守ろう！
「防犯パトロール」

各自治会で実施しています。児童を犯罪や非行から守る。空き巣・引ったくりの予防と、道路清掃等の美化運動を兼ねて行っています。



健康づくりに向けて
「健康体操教室」

毎月(原則)第1月曜日
時間：10:00～11:30
場所：南本宿消防出張所
中高年の健康促進のための、楽しい教室です。

見守り活動や各種行事
「老人クラブの活動」

誕生会、お楽しみ会等の行事、ゲートボール・グランドゴルフ等の他、定期的に郊外での活動を実施。高齢者や通学児童の見守りと、道路清掃などにも協力。



お茶のみ地域サロン
「ほっと」 (平成22年12月～実施)

毎月第1木曜日
時間：13:00～15:30ごろ
場所：本宿東部自治会館
高齢者と介護者、そのご家族、皆さんの息抜きの場です。

- ・地域には他にも様々な活動があります
- ・活動についてのお問合せは、万騎が原地域ケアプラザ、旭区社会福祉協議会へお気軽にどうぞ。

これまで（第1期）の活動

活動の振り返り

連合自治会、地区社協、民児協、老ク連、他、各団体が役割に応じて積極的に活動。

- 乳幼児からお年寄りまで、見守りと、活動の場の提供を支援
- 各活動団体同士の相互交流による地域活動のフォロー
- 連合、社協機関紙発行による地域情報の発信と共有化

分野別の活動内容

● 子育て支援

- * 子育て不安の解消と、子どもの健全育成を支援
- * 子育て支援ネットワーク「クローバー」への参加
- * 未就園児とその親を対象「ママ・キッズ」の運営
- * 子どもとその家族、大縄跳び・吹き矢大会を支援



(ママ・キッズ：お芋掘り)



(ひとり暮らし高齢者「お楽しみ交流会」)

● 高齢者・障害者支援

- * ひとり暮らし高齢者「お楽しみ交流会」の開催
- * 中途障害者リハビリ等の支援
- * 高齢世帯見守り活動、高齢者各種行事支援
- * 災害時要支援者対策検討会の実施
- * お茶のみサロン「ほっと」立ち上げ

● 健康づくり支援

- * 桐が作健康体操クラブ
- * 保健活動推進員主体の健康体操教室

● 地域・世代間交流支援

- * 関係者交流会での地域情報の相互理解と共有
- * 「健民祭」による地域交流
- * 「教育水田」での米作りを通じての世代間交流や高齢者と小学生とのふれあい交流会実施



(健民祭)



(教育水田：田植え)



(防犯のつどい)

● 安心・安全のまちづくり

- * 「防災訓練」や「防犯のつどい」の実施
- * 防犯パトロールの実施
- * 学援隊・他、小学生の登下校時見守り活動
- * 福祉研修講座、研修会等開催

● 各種情報の提供と共有

- * 連合と地区社協の機関紙での地域情報提供
- * 自治会による防犯・防災情報等の迅速掲示

地域の強みと現在の課題

地域の強み

- 人口構成は30代・40代が多く、65歳以上の高齢者は横浜市の平均より少ない。
- 連合自治会、地区社協を中心として住民の融和が保たれている。

現在の課題

- 戸建て住宅を主としつつ集合住宅や市街化調整区域など、異なる環境が混在している。
- 高齢者とその予備軍は増加傾向にあり、特に戸建て住宅地区では高齢化が進んでいる。
- 核家族化が進んでおり、子育て相談や子どもの健全育成活動は不可欠である。
- 一部には山坂が多く、高齢者や障害のある人には外出が困難な状況も散見される。高齢者等の一般的な見守り活動以外に、災害時要支援者対策等も必要。
- 団塊の世代の地域貢献度が低く、ボランティア等の地域の担い手となる人材確保が課題。

計画の目標

- **誰もが住みやすい明るいまちづくりを目指す。**
- **地域の福祉保健活動を多くの住民が理解して、身近な問題として協力し合う土壌を育成する。**

具体的な活動の取り組み

基本的な考え方

1. 目標の設定については、5年間の到達目標を以下の通り分別する。
 - A＝既存の活動の継続・強化
 - B＝新規活動への取組と大枠の完成
 - C＝新たな活動のための条件整備
2. それぞれの活動の当事者となる団体等を明確にしてヨコのつながりを確認の上、分別した目標ごとに別途5年間のタイムスケジュールを設定し実行する。

具体的な活動

	[目標]
● 子育て支援	
・ 子育て不安の解消と親子の交流を図るための、「ママキッズ」等の継続支援・強化。	[A]
・ 青少年の健全育成のための、各種活動を支援。	[A]
● 高齢者支援	
・ ひとり暮らし高齢者や高齢世帯への支援活動の継続・強化。	[A]
・ お茶のみサロン「ほっと」等の活動の推進（ボランティアの育成を含む）。	[B]
● 健康づくり支援	
・ 高齢者を含めた健康づくり教室等への支援継続。	[A]
● 障害児者支援	
・ 地域における障害児・者の実態把握と、支援活動への対応模索。	[C]
● 安心・安全なまちづくり、各種情報の共有	
・ 教育水田での世代間交流、健民祭等の行事で地域交流の更なる促進。	[A]
・ 防犯のつどい、防犯パトロール、各種講習会等、地域に関する意識の向上。	[A]
・ 災害時要支援者対策等、地区内の具体策検討・実施。	[B]→[A]
・ 関係者の交流会、連合機関紙や社協だより等による情報発信と共有化。	[A]

計画推進母体：旭南部地区・地区別計画策定推進委員会

連合自治会、地区社協、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、保健活動推進員、主任児童委員、青少年指導員連絡協議会、地区子ども会連絡会、本宿小・南本宿小PTA代表